



性教育講演会がありました

10月12日(水)7時～9時：LHRの時間に性教育講演会を行いました。

今年度の講師は 茶川治樹先生(地域医療支援病院 岩国市医療センター医師会病院副院長・総合リハビリテーション長・療育センター長)です。保健委員会からの「HIV・エイズについて」の自主研究発表もあり、大変盛り上がった講演会でした。少し振り返ってみましょう。



「いのち」と「性」について、みんなで話そう

- ♡ リハビリテーションや保健所について
- ♡ 異性への関心
- ♡ 性感染症について
- ♡ 好きな人と性交するときのルール
- ♡ 保健委員会からの発表「HIV・エイズについて」

1. エイズは免疫がなくなる病気
2. HIVに感染してすぐなら薬で対応できる
3. 不安な時は保健所で相談できる

あなたの人生を決めるのはあなたです。今日の講演を聞き、エイズの正しい知識を持つ事は高校生としての予防の第一歩になるのではないでしょうか。



将来好きな人と性交をする時のルールを守れますか？

1. 性欲求を満たすだけの性交はしない
2. 今の2人に本当に性交をすることが必要か、一緒に考える
3. 避妊や感染症の予防方法を知って、正しく実行する

人は「価値があるから生きる」のではなく、「生きることに価値がある」のです！

☆感想より<たくさんの感想のほんの一部です。抜粋したり、省略しています。>

1年生

- 今までこんな風に深く話をしてもらえなかったのが、よい体験になった。
- 男女どちらの身体のこともしっかり知っておかなければいけないと分かった。
- これから先、親になった時に必要なことが分かった。
- 自分を大切にしようと思った。
- 高校生が知っておかなければならない事について知ることができた。
- 自分と同じ世代の性感染症が増えていることに驚いた。
- 高校生の性行動や特徴が分かりやすかった。
- 保健委員の発表が分かりやすかった。

2年生

- 男性目線の話が多く新鮮だった。
- 性感染症に多くの人がかかっていると知り、驚いた。
- 子どもが男の子だったらしてあげないといけないことがあるのだと知れてよかった。
- これからはもっと彼女のことを大切にしたいと思った。
- 将来、そのような場面になったら、今回のことを思い出して、相手のことを考えられる人間になりたい。
- 相手のことを大切にすることが強くなった。
- 授業では聞けないディープな所まで聞いてよかった
- 保健委員会の発表は同年代の言葉なので伝わりやすかった。

3年生

- HIVや性感染症の怖さを知ることができた。自分で意見を言える大人になりたい。
- 2万人も中絶されていると知り悲しくなった。
- 望まない妊娠をしないために予防が大切だと分かった。
- 男性の先生が大胆に説明してくださったので、聞きやすかった。
- 保健所で無料で検査をしてもらえたり、相談に乗ってもらえるなど、様々な役割があることを知れた。
- 今まで保健の授業で聞いた事のないような内容に驚いたが、知らないほど怖いことはないなと思った。
- 子どもを作れる体になった自覚を持つ！
- 命を大事にしたい！
- ダイレクトに言っていたが、それくらい大事な事なんだと思った。

講演会の感想を読んでいると、みんなが様々なことを感じ取りながら、しっかりと考えているのだなぁと思いました。今回は講師の先生が男性で男子目線からの話も多かったのですが、人間として生物学的な男女の身体の違いを知る事は大切な事です。一年に一度ですが、性に関する話を聞き、みんなに様々なことを考えて欲しいと思います。また講演の中で少しだけ出てきた性の多様性や身体の事で困っている事や話してみたいと思う事がある人は休み時間に保健室に来てみてください。人に話すと楽になる事もありますよ。

私は性教育講演会=命の勉強だと考えています。自分自身や家族、友だち、先生、恋人...そして、これから出会うたくさんの人を大切にすることが生きていくためにも、今回の講演会を聞いてもらえて良かったと思います。周りの人のことを思いやり、素敵な恋愛をしてください。そして様々な事を経験しながら、素敵な大人になってください。